

北海道 上富良野町役場 様

音声認識率が向上し運用コスト削減。
認識前の処理が不要になり効率化も。



導入前の課題

- 長時間の録音データを文字起こしする場合にはあらかじめデータを分割する必要があった
- 音声認識は会議の文字起こしのみに活用

導入後の効果

- 長時間の会議でも事前に録音データを分割する必要がなく業務が簡素化できる
- 会議の様子を配信する際にリアルタイム字幕としても利用

導入済みの音声認識サービスでの課題

上富良野町では、町議会・委員会などの会議録作成の効率化を目指し、以前から別の音声認識システムを利用していました。そのシステムはクラウド型のサービスで、一回に認識できるデータ量に制約があり、長時間の録音データを文字起こしする場合にはあらかじめデータを分割する必要がありました。そんな中「ScribeAssist」を紹介いただき、データ分割の必要がない点に興味を持ちトライアルを行いました。

音声認識精度が向上し、運用コストも削減

トライアルでは、定例会・町議会・委員会の録音データで従来のサービスと音声認識精度を比較しました。特に「議会」辞書を利用した場合、「ScribeAssist」の方が音声認識精度が高いことが確認できました。また、認識率以外にも以下の点を評価し、導入を決定しました。

1. 一度に処理できるデータ量に制限がないため、長時間の会議でも事前に録音デー

タを分割する必要がなく業務が簡素化できる

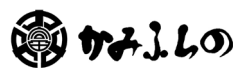
2. 従来のサービスよりも料金が安価で、運用コストの削減が期待できる
3. 認識結果をリアルタイムにポップアップ表示する機能があり、会議の様子を配信する際にリアルタイム字幕として利用できる



▲「ScribeAssist」を議会の字幕表示でも活用

今後「ScribeAssist」に期待すること

さらなる音声認識率の向上はもちろんですが、特に字幕表示機能の強化について期待しています。今よりもう少し細かく表示方式をカスタマイズできたり、リアルタイムに文字起こしたデータを出力できたりすれば、さらに利用用途が拡大できると考えています。



北海道 上富良野町役場

サービス	ScribeAssist
業種	自治体・官公庁
利用シーン	社内打合せ、議会
導入	2023年4月

録音のコツ

マイクの運用方法によって、音声認識の精度が大きく向上します

		会議 (大人数)	会議 (少人数)	面談	セミナー
IC レコーダー		×	△	○	○
グースネック マイク		○	—	—	○
ハンド マイク		◎	△	△	◎
バウンダリー マイク		○	○	○	—



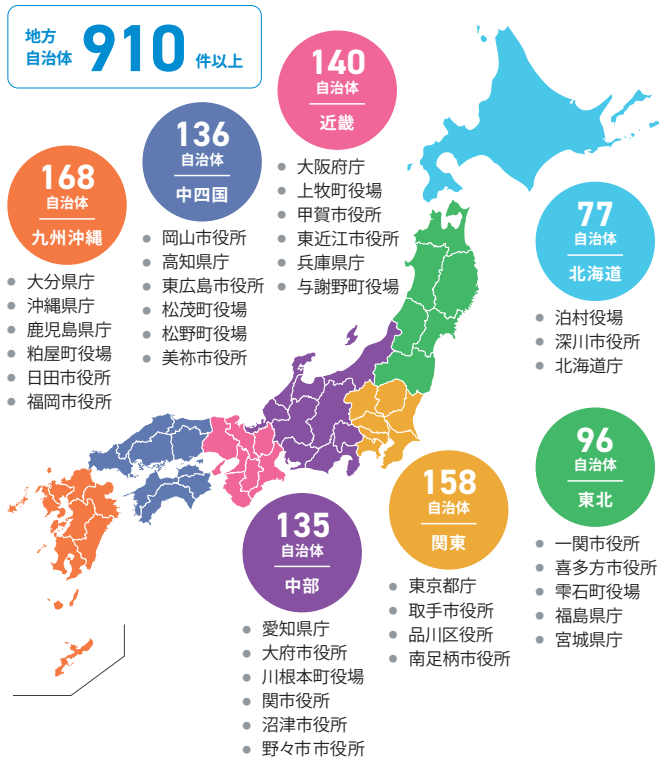
マイクと口元が近いと○



マイクと口元が遠いと×

導入実績

2025年6月現在／議事録ソリューションの導入実績



製品情報

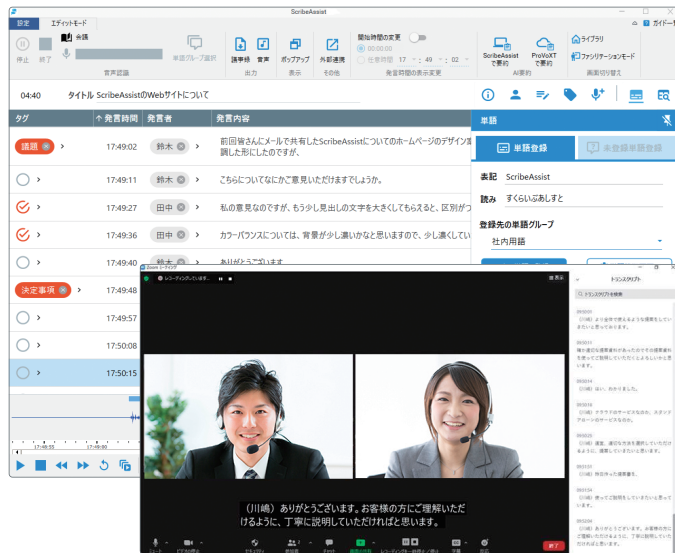


AI音声認識とAI要約で 議事録作成を自動化します

ScribeAssist（スクライプアシスト）は、音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。

スタンドアローン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。

ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる手間を大幅に削減します。



製品詳細ページはこちら

